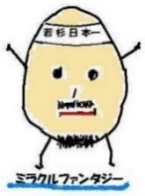
令和４年度を振り返って

校 長　若 杉　栄 一

平楽中学校の校長として着任してから約4年がたちました。誰もが経験したことのないコロナ禍において、学校行事の中止や見直しなど様々な対応に追われた毎日でした。そのような中でも子どもたちは、学校の授業、部活動、行事等あらゆる活動において平楽中の生徒らしく生き生きと元気で素直な場面が数多く見られました。これは日頃から、様々な場面で保護者及び地域の皆様に学校をご支援していただいているおかげだと思います。本当に感謝しております。 ありがとうございました。



校長コラム　「燃える闘魂！」逝く

プロレスラーのアントニオ猪木さんが亡くなった。「元気があれば何でもきる」といつも語りかけてくれた。猪木さんに言われると本当に元気が湧いてくる感じがした。プロレス好きの自分にとってあこがれの存在であり、教員になってからも学校の体育祭の日は必ず新日本プロレスのTシャツを身につけた。以前は日本武道館に行き、プロレス観戦もした◆猪木さんの本名は猪木寛至という。「寛」の意味は「心広くおおらか」である。まさに猪木さんの人柄を表している。有名なモハッメッド・アリ選手とのプロレス VS ボクシングの対戦ではリング外でも激しい挑発があったが、試合後はお互いを尊敬する間柄になった◆猪木さんはプロレスラーでありながら、空手道の流派も作り上げている。水谷さんという空手の達人に試合を挑まれてプロレス VS 空手の命がけの戦い寸前まで行ったが、格闘家同士で意気投合して空手道の良さを認めて二人で「寛水琉空手道」を創始した。お互いの名前から一文字ずつとって命名した。相手のことを認めて敬う広い心の持ち主が猪木さんである。直接お会いしたこともある。私自身が三重県で行われた「寛水琉空手道オープントーナメント大会」に出場した時に、会場ではあのテーマ曲が流れる中、創始者のアントニオ猪木さんが激励の挨拶のために姿を現したのだ。とても感激した思い出である◆自分と違う考え方でもその相手を認めること、心広くおおらかな気持ちでいることがどんなに大切かを教えてくれた猪木さん。校長である私自身もこれからの人生を、ひとりの人間として忘れずに過ごしていきたい（若杉）

学び・豊かに・健やかに ＆ 平魂楽＝やるときはやる

I ☆ HEIRAKU